

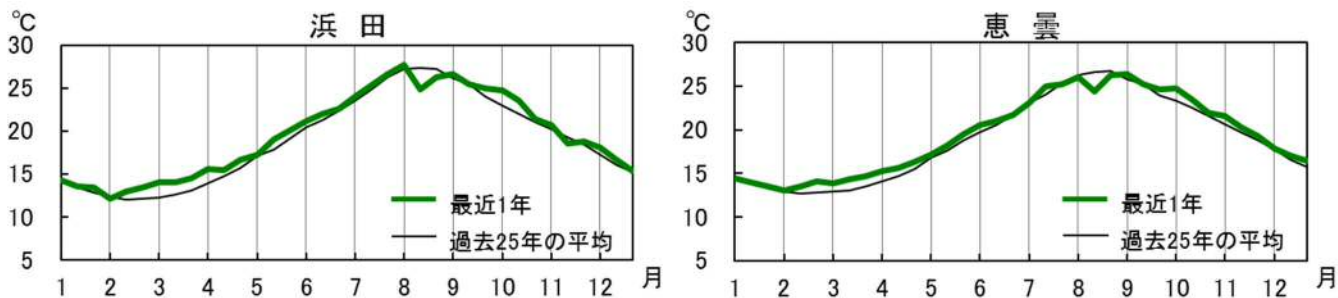


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《12月の海況》



12月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	16.6℃	+0.5℃	平年並み	17.2℃	+0.4℃
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	平年並み			やや高め		



## 《12月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の6割、マアジは平年の6割でした。隠岐地区ではブリ、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は27.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは1,457トンで平年の7割、マイワシは288トンで平年並みでした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は29.4kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)では水揚げがありませんでした。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、マダラ、アナゴ・ハモ類が主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.3トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の9割、マダラは平年の2.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.4倍でした。その他、マダイは平年の1.5倍、マトウダイは平年の1.4倍と好調でしたが、アカムツは平年の1.0倍、ソウハチおよびアンコウ類は平年の8割、ムシガレイは平年の7割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではアンコウ類、ソウハチ、アナゴ・ハモ類が主体の漁況で、総漁獲量は202トンでした。1統1航海当りの漁獲量は778kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アンコウ類は平年の9割、ソウハチは平年の4割、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍でした。その他、マトウダイは平年の2.2倍、カマスは平年の2.1倍、キダイは平年の1.4倍と好調でしたが、ニギスは平年の1.0倍、アカムツおよびムシガレイは平年の8割、ヒレグロは平年の5割の水揚げでした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は11.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の9割でした。石見地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は7.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.3倍、サバ類は平年の2割でした。隠岐地区ではマアジ、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は1.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の7割、サワラ類は平年の5.9倍でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではカツオ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は34.7kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カツオは平年の132.9倍でした。石見地区ではカツオ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は34.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カツオは平年の85.1倍でした。隠岐地区では、ブリ、クロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は40.4kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍、クロマグロは平年の2.0倍でした。

## 【令和3年12月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ブリ、マイワシ	2,063トン	97%	69%	27.9トン	114%	61%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.5トン	2208%	5%	29.4kg	1227%	27%	▲
	西郷	—	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、マダラ、アナゴ・ハモ類	280トン	88%	90%	13.3トン	88%	88%	▲
小型 底びき網	大田	アンコウ類、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	202トン	82%	74%	778kg	86%	91%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類	129トン	85%	63%	11.7トン	100%	66%	▲
	石見	マアジ、サバ類	28.4トン	123%	49%	7.1トン	123%	47%	▲
	隠岐	マアジ、サワラ類	5.6トン	64%	35%	1.9トン	64%	35%	▲
釣り・縄	出雲	カツオ	21.2トン	102%	59%	34.7kg	116%	96%	○
	石見	カツオ	28.1トン	170%	99%	34.3kg	165%	140%	◎
	隠岐	ブリ、クロマグロ	25.9トン	209%	138%	40.4kg	191%	135%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ